

# 自己資本

稚内しんきんの自己資本比率は65.15%と極めて健全な財務体質となっています!!

「自己資本比率」は、金融機関の健全な体質を示す指標です。

平成10年4月から適用となった早期是正措置は自己資本比率が基準となります。信用金庫は国内基準で4%以上でなければならないとされていますが、当金庫の平成22年3月末の自己資本比率は**65.15%**で基準の**1.6倍**を超え引き続き高水準を維持しております。

稚内しんきんの自己資本比率が高いのは、業容を拡大していく過程で、利益の中から将来のために、コツコツと自己資本を積み上げてきた結果によるものです。なお、資本の「質」と「量」を強化する目的でパーゼル銀行監督委員会が発表した新たな銀行の自己資本比率規制（案）における「**狭義の（コア）中核的自己資本比率**」は62.35%となっております。

## 自己資本調達手段の概要

自己資本は、主に基本的項目（Tier1）と補完的項目（Tier2）で構成されております。平成21年度末の自己資本額のうち、当金庫が積み立てているもの以外のものについては、基本的項目では地域のお客さまからお預かりしている出資金が該当します。

## 単体自己資本比率（国内基準）・自己資本の構成に関する事項

（単位：百万円）

項 目	平成20年度	平成21年度
出 資 金	670	668
利 益 準 備 金	670	668
特 別 積 立 金	39,000	40,500
次 期 繰 越 金	763	439
処 分 未 済 持 分	△ 0	△ 0
その他有価証券の評価差損	—	—
基 本 的 項 目 ( A )	41,104	42,275
一 般 貸 倒 引 当 金	1,394	1,622
補 完 的 項 目 不 算 入 額	△ 981	△ 1,213
補 完 的 項 目 ( B )	413	409
自 己 資 本 総 額 [(A)+(B)] (C)	41,518	42,684
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	5,339	5,916
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	5,040	5,040
控 除 項 目 不 算 入 額	△ 5,339	△ 5,916
控 除 項 目 計 ( D )	—	—
自 己 資 本 額 [(C)-(D)] (E)	41,518	42,684
資 産 ( オ ン ・ バ ラ ン ス 項 目 )	53,631	53,514
オ フ ・ バ ラ ン ス 取 引 等 項 目	1,082	928
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	11,388	11,066
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 計 ( F )	66,101	65,510
単 体 T i e r 1 比 率 ( A / F )	62.18 %	64.53 %
単 体 自 己 資 本 比 率 ( E / F )	62.80 %	65.15 %

※国内基準に係わる自己資本比率の算出方法

$$\frac{\text{自己資本の額（基本的項目+補完的項目-控除項目）}}{\text{リスク・アセット等}} \times 100$$



参考 狭義の（コア）中核的自己資本比率

$$= \frac{\text{自己資本（基本的項目42,275百万円） - 税効果相当額（1,423百万円）}}{\text{リスク・アセット等（65,510百万円）}} \times 100 = 62.35\%$$

## 自己資本額の推移



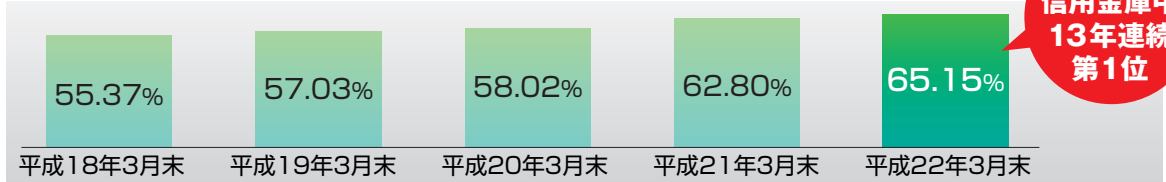
着実に  
積み上がって  
おります

### 単体及び連結の自己資本の構成に関する注記事項

1.平成20年度、平成21年度の自己資本比率は、自己資本比率規制の一部を弾力化する特例（平成20年金融庁告示第79号）に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除しておりません。なお、平成21年度について、「その他有価証券の評価差損」の額（626百万円）を控除して計算した場合には、単体自己資本比率は64.20%、連結自己資本比率は64.21%となります。

2.単体及び連結の自己資本比率は、平成18年度以降は「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」（平成18年金融庁告示第21号）に基づき算出しております。また、平成17年度以前は「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき自己資本比率の基準を定める件」（平成5年大蔵省告示第62号）に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

## 単体自己資本比率の推移（国内基準）



全国  
信用金庫中  
13年連続  
第1位

## 連結自己資本比率（国内基準）・自己資本の構成に関する事項

（単位：百万円）

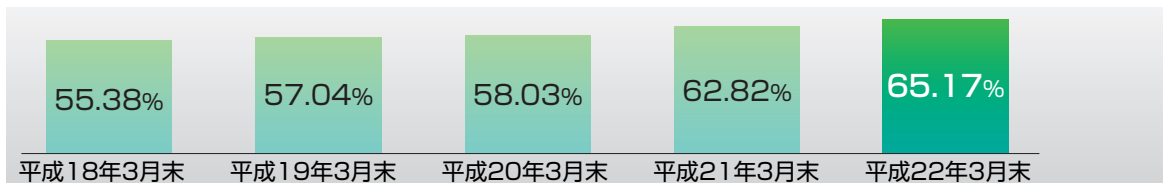
項 目	平成20年度	平成21年度
出 資 金	670	668
利 益 剰 余 金	40,436	41,610
処 分 未 済 持 分	△ 0	△ 0
その他有価証券の評価差損	—	—
基 本 的 項 目 ( A )	41,106	42,277
一 般 貸 倒 引 当 金	1,394	1,622
補 完 的 項 目 不 算 入 額	△ 981	△ 1,213
補 完 的 項 目 ( B )	413	409
自 己 資 本 総 額 [(A)+(B)] (C)	41,519	42,687
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	5,339	5,916
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	5,040	5,040
控 除 項 目 不 算 入 額	△ 5,339	△ 5,916
控 除 項 目 計 ( D )	—	—
自 己 資 本 額 [(C)-(D)] (E)	41,519	42,687
資 産 ( オ ン ・ バ ラ ン ス 項 目 )	53,621	53,504
オ フ ・ バ ラ ン ス 取 引 等 項 目	1,082	928
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	11,388	11,066
リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 計 ( F )	66,091	65,500
連 結 T i e r 1 比 率 ( A / F )	62.19%	64.54%
連 結 自 己 資 本 比 率 ( E / F )	62.82%	65.17%

（注）

- ※1.準備金積立等は、当該期の剰余金の処分額を加算した後の金額を記載しております。
- ※2.補完的項目に算入している一般貸倒引当金の額は、自己資本比率でみて0.625ポイントを限度としております。
- ※3.リスク・アセットは、損失が発生する可能性のある資産総額です。

※連結自己資本比率は信用金庫法に基づく子会社を合算した比率となっております。（当金庫の連結対象子会社はわかしんビジネス(株)1社となっております。）

## 連結自己資本比率の推移（国内基準）



## ■子会社の状況

会 社 名	所 在 地	主 要 業 務 内 容	設 立 年 月 日	資 本 金	当該子会社の有する当庫の出資口数
わかしんビジネス株式会社	稚内市中央3-9-6 稚内信用金庫内	事務サービス等	昭和60年 8月1日	10,000千円	6,000口

当金庫では、子会社であるわかしんビジネス(株)は、当金庫グループの財政状態及び経営成績に関する合理的な判断を誤らせない程度に重要性が乏しいと認められるため、連結財務諸表は作成していませんが、連結自己資本比率の算定にあたっては算出対象としています。